

7/6  
@おたけに  
まね

# 持続可能な開発目標 (SDGs) について

関東地方環境パートナーシップオフィス (関東EPO)  
 関東地方ESD活動支援センター (関東ESDセンター)  
 一般社団法人環境パートナーシップ会議

令和元年7月6日

## 関東EPOの主な役割

関東1都9県の

環境パートナーシップ※に関する

- 情報収集 & 情報提供
- 人材育成のサポート
- 情報共有の場づくり
- 各々の取組の推進・支援



※環境パートナーシップ…多様な主体がそれぞれ適切に役割を担いつつ、対等な立場において相互に協力して行う環境活動全般 (協働取組)

## エポ シオック EPO/GEOC

- ・ 環境省の最先機関である地方環境事務所(計8ブロック)ごとに、官民協働による「地方環境パートナーシップオフィス (地方EPO)」を運営 (環境教育等促進法第19条第1項に基づき拠点として位置づけ)
- ・ 中間支援組織として、環境NPOの基盤強化支援のほか、地域の環境課題に対応して、多様な主体が対等な立場で相互に協力して課題解決に取り組むよう、コミュニケーションの場づくり等を行っている。



## 環境教育等促進法について (概要)



## 環境教育とは

- ・**持続可能な社会**の構築を目指して、
- ・家庭、学校、職場、地域その他あらゆる場において、
- ・環境と社会、経済及び文化とのつながり
- ・その他環境の保全についての理解を深めるために行われる環境の保全に関する**教育及び学習**をいう

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第2条の3

## ESD推進の経緯

- 2002年 (H14) 持続可能な開発に関する世界首脳会議 (ヨハネスブルグ・サミット) で「ESDの10年 (DES10)」が提唱される。
- 2005年 (H17) **国連持続可能な開発のための教育の10年**開始  
～2014年 (H26) まで
- 2014年 (H26) 「ESDに関するユネスコ世界会議」においてDES10の後継プログラムとして**「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム (GAP)」**の開始が正式発表
- 2015年 (H27) ESD活動支援企画運営準備委員会において検討開始
- 2016年 (H28) 「我が国における『持続可能な開発のための教育 (ESD)』に関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」(ESD国内実施計画)が関係省庁連絡会議で決定
- 2016年 (H28) 平成28年4月 ESD活動支援センター (全国) 開設

【ESD国内実施計画 (抜粋)】

「～ESD活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる**「ESD活動支援センター (全国・地方)」**を整備し、地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく。」

# Education for ~のための教育 Sustainable Development ~持続可能な 開発・発展

## 持続可能な開発のための教育

「持続可能な開発のための教育(ESD)」は、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。〔ESD国内実施計画より〕

### ESD推進ネットワークは

ESDの広がりを通り通して、地域の関係者の関係と関係の向上、SDGs達成に向けた取組、行動変遷を進めます。



# 地方ESD活動支援センター

地方ESD活動支援センター（拠点センター）  
 本センターや地方自治体、地元ESD協会の  
 もとで活動の中心とし、上から下へ情報共有  
 などを通じてESD活動ネットワークを促進

1. 地方ESD活動支援センターの役割
2. 拠点センターを形成したESD活動の  
 3. ESD活動のネットワークの形成促進
4. 人材育成機能

千葉県ESD活動支援センター  
 〒664-0247  
 千葉県千葉市中央区人形町5-11  
 文芸ビル7階  
 TEL:043-334-0261

東京都ESD活動支援センター  
 〒150-0074  
 東京都豊島区中野区東中野1-21-21  
 中野区民センター5階  
 TEL:03-3711-2611

東京都ESD活動支援センター  
 〒150-0001  
 東京都豊島区中野区東中野1-21-21  
 コスモビル5階511号  
 TEL:03-6427-2925

千葉県ESD活動支援センター  
 〒460-0003  
 千葉県浜松町4-2-43  
 新1-1ビル4階  
 TEL:02-716-8073

近畿圏ESD活動支援センター  
 〒540-8591  
 大阪府大阪市東淀川区東中島1-17-33  
 東中島ビル5階505号  
 TEL:06-6448-5666

中部圏ESD活動支援センター  
 〒720-0011  
 兵庫県姫路市中央1-11-10  
 中央ビル5階501号  
 TEL:078-334-2176

九州圏ESD活動支援センター  
 〒830-0806  
 福岡県福岡市東区東区1-11  
 東区第一生命ビル5階511号  
 TEL:092-721-7422

四国圏ESD活動支援センター  
 〒760-0073  
 香川県高松市東区東区1-1-1  
 高松第一生命ビル5階511号  
 TEL:087-823-2183

# 関東地方ESD活動支援センター

名称：関東地方ESD活動支援センター

略称：関東ESDセンター

英語名：ESD Resource Center of Kanto, Japan

開設日：平成29年7月3日（月）

## 【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する**情報共有機能**
- ② 現場のニーズを反映した**ESD活動の支援機能**
- ③ ESD活動の**ネットワークの形成機能**
- ④ **人材育成機能**

# 地方ESD活動支援センター

地方ESD活動支援センター（拠点センター）  
 本センターや地方自治体、地元ESD協会の  
 もとで活動の中心とし、上から下へ情報共有  
 などを通じてESD活動ネットワークを促進

1. 地方ESD活動支援センターの役割
2. 拠点センターを形成したESD活動の  
 3. ESD活動のネットワークの形成促進
4. 人材育成機能

千葉県ESD活動支援センター  
 〒664-0247  
 千葉県千葉市中央区人形町5-11  
 文芸ビル7階  
 TEL:043-334-0261

東京都ESD活動支援センター  
 〒150-0074  
 東京都豊島区中野区東中野1-21-21  
 中野区民センター5階  
 TEL:03-3711-2611

東京都ESD活動支援センター  
 〒150-0001  
 東京都豊島区中野区東中野1-21-21  
 コスモビル5階511号  
 TEL:03-6427-2925

千葉県ESD活動支援センター  
 〒460-0003  
 千葉県浜松町4-2-43  
 新1-1ビル4階  
 TEL:02-716-8073

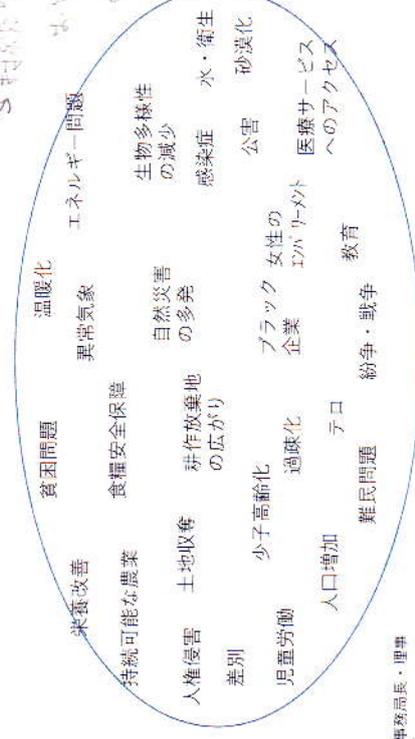
近畿圏ESD活動支援センター  
 〒540-8591  
 大阪府大阪市東淀川区東中島1-17-33  
 東中島ビル5階505号  
 TEL:06-6448-5666

中部圏ESD活動支援センター  
 〒720-0011  
 兵庫県姫路市中央1-11-10  
 中央ビル5階501号  
 TEL:078-334-2176

九州圏ESD活動支援センター  
 〒830-0806  
 福岡県福岡市東区東区1-11  
 東区第一生命ビル5階511号  
 TEL:092-721-7422

四国圏ESD活動支援センター  
 〒760-0073  
 香川県高松市東区東区1-1-1  
 高松第一生命ビル5階511号  
 TEL:087-823-2183

## 地球規模課題の深刻化



深刻化  
 の深刻化  
 と持続可能な  
 まいりやが  
 の深刻化  
 SDGs ↓

CSO ネットワーク事務局長・理事  
 黒田がをり氏作成  
 参考：「新CSR検定3級」オランダナ生

2019年度KECA総合研修会

# 今なぜSDGs/ESDか？



## 大切なことは前文と宣言に

- このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための**行動計画**である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものでもある。我々は、**極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題**であり、**持続可能な開発のための不可欠な必要案件**であると認識する。

## 大切なことは前文と宣言に

- すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要なら、大胆かつ**変革的な**手段をとることに決意している。我々はこの共同の旅程に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さないこと**を誓う。

## 大切なことは前文と宣言に

- 今日我々が発表する17の持続可能な開発のための目標（SDGs）と、169のターゲットは、**この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している**。これらの目標とターゲットは、ミレニアム開発目標（MDGs）を基にして、ミレニアム開発目標が達成できなかったものを全うすることを目指すものである。これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す。これらの目標及びターゲットは、**統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を**調和させるものである。
  - これらの目標及びターゲットは、人類及び地球にとり極めて重要な分野で、**向こう15年間にわたり、行動を促進するもの**になろう。

## 2030アジェンダのキーフレーズ

- **Transforming** our world.  
「私たちの世界を変革する。」
- Leaving **no one** behind.  
「誰一人取り残さない。」
- Reach **the furthest** behind first.  
「最も厳しいところから手をつける。」

# SDGsの5つの要素

持続可能な社会をつくるために大切なこととして示された5つの要素



# 政府の取組：SDGs推進本部とSDGs実施指針

## 背景

- 状況にあたっての国連サミットでは、安倍総理が演説し、気候変動、3R等の循環型社会形成の知見や取組を世界に共有することで、日本がアジアが実施に最大限努力することを表明した。
- 政府一体となってSDGsに取り組むため、2016年5月に閣議決定により総理大臣を本部長、全閣僚を本部長とする「SDGs推進本部」を設置。
- SDGs推進本部において実施指針を策定、2016年12月22日に発表。

## SDGs実施指針(骨子)の概要

- ・ 持続可能で強靱、そして誰一人取り残されない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への挑戦者を目指す。
- ・ 優先課題(取組の柱)は下記の8つ
  - 1 あらゆる人々の活躍の推進
  - 2 国内外における健康・長寿の達成
  - 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
  - 4 質の高いインフラ、強靱な国土の整備
  - 5 省・再生エネルギー、気候変動対策、循環型社会
  - 6 生物多様性、森林、海洋等、環境の保全
  - 7 平和・安全・カバナンズ
  - 8 SDGs実施推進の体制・手段



平成28年6月20日(左側) SDGs推進本部第1回閣議にて策定された取組指針

# SDGsの認知度16% (2019.4 株式会社電通)

# SDGs実施のための短中期工程表

2016年 5月	SDGs推進本部設置
12月	『SDGs実施指針』策定(本部長閣下)
2017年 7月	第1回自発的国連サミット実施
12月	『SDGsアクションプラン2018』の公表、第1回ジャパンSDGsアワードの開催により、官民によるSDGsの取組の取組を推進
2018年 夏	『同アクションプラン』に基づいて、主要な取組を実施しつつ、更に具体化・拡充し、日本の「SDGsモデル」を構築
2019年 夏	『SDGs実施指針』の第1回フォローアップ
冬	『SDGs実施指針』改定
2020年 以降	2030年までにSDGsを達成

日本をSDGs先進国に

## 【国際社会への発信】

- G7伊勢志摩サミット  
SDGs推進本部のSDG7サミットとして、国内外の民間にコミット
- 国連ハイレベル政治フォーラム  
(開催地：7月、ニューヨーク)にて日本の「自発的国連サミット」を発表
- 国連ハイレベル政治フォーラム  
(開催地：7月、ニューヨーク)
- 国連ハイレベル政治フォーラム  
(開催地：9月、ニューヨーク)
- 国連ハイレベル政治フォーラム  
(開催地：9月、ニューヨーク)
- G20サミット-TICADの日本開催
- 東京オリンピック・パラリンピック大会
- 2025年万博の招致

## 第1回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体



平成29年12月26日

- ◆ SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞  
北海道下川町
- ◆ SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞
  - ・特定非営利活動法人しんせい
  - ・パルシステム生活協同組合連合会
  - ・金沢工業大学
- ◆ SDGs推進副本部長（外務大臣）賞
  - ・サラヤ株式会社
  - ・住友化学株式会社
- ◆ SDGsパートナーシップ賞（特別賞）
  - ・吉本興業株式会社
  - ・公益財団法人ジヨイセフ
  - ・福岡県北九州市
  - ・国立大学法人岡山大学
  - ・株式会社伊藤園
  - ・公益財団法人ジヨイセフ
  - ・江東区立八名川小学校

国連持続可能な開発目標SDGs推進センター

## 第2回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体



平成30年12月21日

- ◆ SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞  
株式会社日本フードエコロジーセンター
- ◆ SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞
  - ・日本生活協同組合連合会
  - ・鹿児島県大崎町
  - ・一般社団法人ラ・バルカグループ
- ◆ SDGs推進副本部長（外務大臣）賞
  - ・株式会社LIXIL
  - ・特定非営利活動法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS
  - ・会宝産業株式会社
- ◆ SDGsパートナーシップ賞（特別賞）
  - ・株式会社虎屋本舗
  - ・株式会社大川印刷
  - ・株式会社滋賀銀行
  - ・山陽女子中学校・高等学校地歴部
  - ・株式会社ヤクルト本社
  - ・産科婦人科舘出張 佐藤病院
  - ・株式会社フジテレビジョン

国連持続可能な開発目標SDGs推進センター

## 2018 SDGs未来都市に選定された29自治体

- ・【都道府県】北海道、★神奈川県、長野県、広島県
- ・【市町村】札幌市、★二七〇町、★下川町（北海道）
- ・東松島市（宮城県）、★仙北市（秋田県）、★飯豊町（山形県）
- ・つくば市（茨城県）、★横浜市、★鎌倉市（神奈川県）
- ★富山市（富山県）、★白山市（石川県）、★静岡市（静岡県）
- ★浜松市（静岡県）、★豊田市（愛知県）、★志摩市（三重県）
- 堺市（大阪府）、★十津川村（奈良県）、★岡山市
- ★真庭市（岡山県）、★宇部市（山口県）、★上勝町（徳島県）
- ★北九州市（福岡県）、★彦岐市（長崎県）、★小国町（熊本県）
- ★はモデル事業に選ばれた自治体

提案のタイトル（抜粋）

- ・コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
- ・誰もが健康で学びやすい、生涯活躍するまちおかやまの推進
- ・地熱と森林の恵み、人とのつながりがもたらす持続可能なまちづくりを目指して

国連持続可能な開発目標SDGs推進センター

## 2019 SDGs未来都市に選定された31自治体

福島県郡山市	神奈川県小田原市	新潟県見附市	富山県南砺市
福井県鯖江市	京都府舞鶴市	岡山県真庭市	熊本県熊本市
鹿児島県大崎町	沖縄県恩納村	若手県陸前高田市	熊本県宇都宮市
群馬県みどり市	埼玉県さいたま市	東京都野市	神奈川県川崎市
富山県	石川県小松市	愛知県	愛知県名古屋市長
愛知県豊橋市	滋賀県	奈良県生駒市	奈良県三郷町
奈良県広陵町	和歌山県和歌山市	和歌山県御宿市	鳥取県日南市
福岡県大牟田市	福岡県福岡市	鹿児島県志布志町	

国連持続可能な開発目標SDGs推進センター



各セクターの動き：企業

## 企業行動憲章の改訂（2017年11月8日）

「会員企業は、持続可能な社会の実現が企業の発展の基盤であることを認識し、広く社会に有用で新たな付加価値および雇用の創造、ESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した経営の推進により、社会的責任への取り組みを進める。また、自社のみならず、グループ企業、サプライチェーンに対しては、行動変革を促すとともに、多様な組織との協働を通じて、Society 5.0の実現、SDGsの達成に向けて行動する。」

企業行動憲章の主な改正ポイントと関連するSDGsの目標の例  
サブタイトルを「持続可能な社会の実現のために」に変更  
インベンスティメント方針として、ESGの観点から環境・社会・ガバナンスの観点から選定する企業を「第一選」として優先的に投資（第一選）  
人権の尊重を多岐にわたって挙げる  
多岐にわたるESGの観点にわたってESGの観点から選定する企業を「第一選」として優先的に投資（第一選）  
環境・社会・ガバナンスの観点から選定する企業を「第一選」として優先的に投資（第一選）  
SDGs（持続可能な開発目標）について



国連がESG活動推進センター

各セクターの動き：企業

## 中小企業向け活用ガイド（2018年6月28日）

【ガイドの特徴】

本ガイドは、SDGsについてこれまで特段の取組を行っていない、あるいはSDGsに関する持ち何か取組を始めてみようと考えているような、とりわけ職員数や活動の範囲が中小規模の企業・事業者を主な対象としています。このため、地域経済を支え、地域の活力の中心となつて活動しているこれからの方々の目線で眺め、使いやすい内容となることを意図して構成しています。



すべての企業が具体的に貢献するために  
一冊のガイドブックが役立つように編纂されています。

中国 山東省  
德州市



国連がESG活動推進センター

各セクターの動き：市民

## SDGs市民社会ネットワーク

Japan Civil Society Network on SDGs (SDGs Japan)

開発系NGOを中心に、ポスト2015NGOプラットフォームとして設立。SDGsの策定に伴い、一般社団法人SDGs市民社会ネットワークとして組織を改組し、開発・環境・障害・ジェンダー等の分野別ユニットを軸に活動を展開している。（2018年8月現在、100団体登録）



主な事業の柱は以下の通り。

- 提言活動
- 国際活動
- 地域間の連携
- SDGsを伝え・広げる

国連がESG活動推進センター

## 2015年に世界で起こったこと

9月 国連総会において、持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs含む）採択  
**= Transforming our world**

12月 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（UNFCCC-COP21）において、パリ協定採択

**= 化石燃料文明をやめ、新文明を作る**

国連がESG活動推進センター

## パリ協定とは

- 190カ国以上が合意したルール。国際条約
- 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて**2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える**努力をする
- そのため、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、**温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる**（実質排出ゼロ）
- 支援を必要とする途上国にはそれを提供し、起きてしまう温暖化の影響にも対応する

## パリ協定のポイント

- 脆弱な人々の権利や健康を守るため、「Climate Justice=気候正義」という考え方に従って、行動をする。
- 世界は気候変動対策としての「低」炭素から、**文明の転換**ともいえる「**脱**」炭素を目指した。
- 気候変動の物理的インパクトだけでなく、**脱炭素経済への移行リスク**にも目を向け始める。

## パリ協定・気候変動とSDGs



誰もが使えるクリーンエネルギー

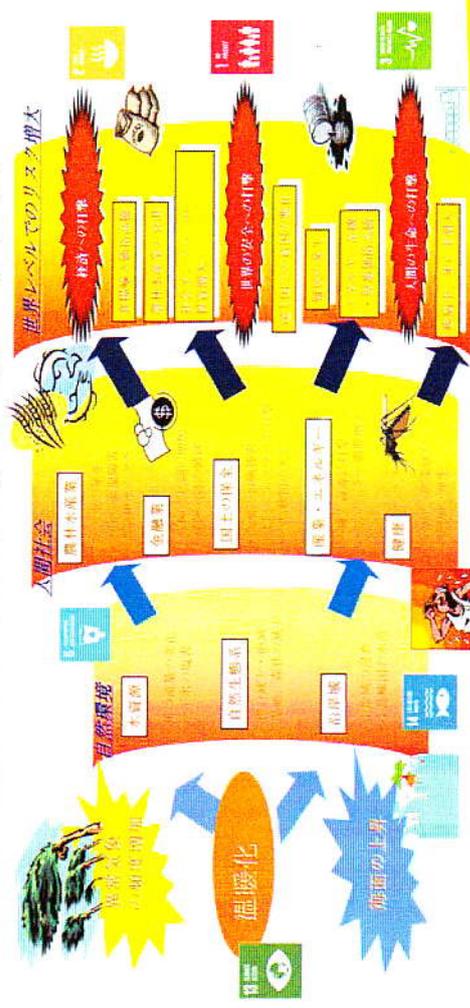
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



気候変動へのアクション

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

## 温暖化が世界にもたらす深刻な影響



# 「SDGs」と「教育」

- 教育はSDGsの目標4に位置づけられており、**ESD**は目標4の中の**ターゲット4.7**に記載されています。しかし、教育については、「**教育が全てのSDGsの基礎**」であり、「**全てのSDGsが教育に期待**」している、とも言われています。特に、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものです。ですから、**ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接間接につながっています**。また、SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできます。



持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて、文部科学省がESDを実践されている各団体へのメッセージ。文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会

出典：文部科学省「ESD実践の推進計画」

## 学習指導要領の改訂

- 前文（幼・小・中）

これからの学校（幼稚園）には、一人一人の生徒（幼児・児童）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように努めることが求められる。このために、各学校教育の在り方を具体化するのが、各学校（幼稚園）において教育の内部に組み立てた教育課程である。

この考え方は、ESDそのものです

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

## 学習指導要領の改訂

学び方としては・・・

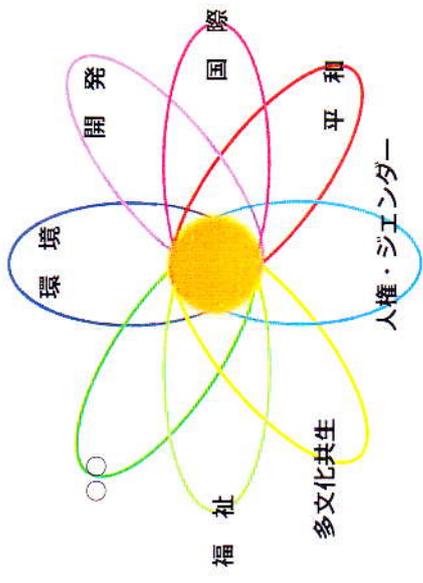
### ① 教科横断的な視点

**「カリキュラム・マネジメント」**

### ② 主体的・対話的で深い学び

**「アクティブ・ラーニング」**  
**（問題解決的な学び）**

# 〇〇教育の接点 = ESD



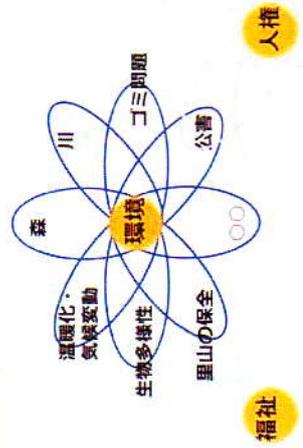
2019年度KECA総合研修会

# ESDの特徴

## ESDの特徴

多様なテーマを  
総合的に扱います

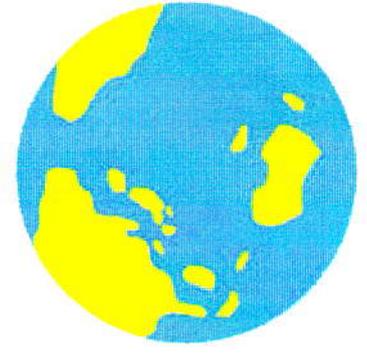
問題の多くは、様々な要素が密接に関わりあっています。  
それらのつながりを考え、具体的な問題解決に結びつけます。



## ESDの特徴

未来を描くこと

地域の歴史や現実を学び、そこから自分たちが望む未来を描くことから始まります。



50年後も、  
100年後も、  
自分の子どもも、  
孫も、そのまた  
子どもも、  
ずっとこの地域で  
暮らすために

# ESDの特徴

ESDの対象は子ども  
だけではありません

学校、企業、地域住民、行政、NPO・・・  
多様な立場や世代の人々がESDの担い手であり、  
学び手です。



**「協働」する意識**  
 ・適切な役割分担  
 ・対等な立場  
 ・相互に協力  
 = 相互の強みを  
 活かして、同じ課  
 題を共有し、協力  
 し合う  
 = 持続可能な社会

# ESDの特徴

「教える」教育で  
はありません

具体的な課題・問題を解決するために考え、話し合  
い、行動しながら学ぶ学習活動です。



**「気付き」を大切に  
にする**  
 ・どうして？  
 ・誰が？  
 ・どこで？  
 ・どうしたら？

# 時代の変化→教育も変化

少しずつ成長する  
穏やかな社会

正解のあった時代

20世紀型教育  
記憶力・情報処理力  
が問われていた

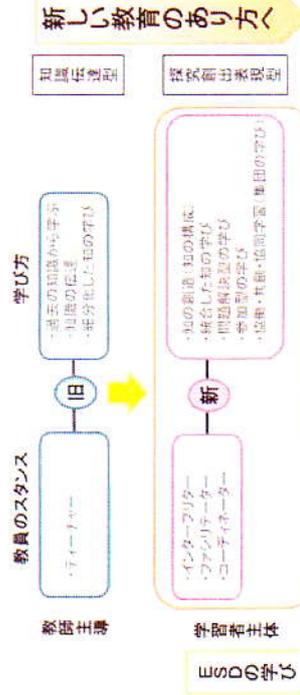
知識が大事

激変の時代  
グローバル化の時代

正解がどんどん  
変わる時代

21世紀型教育  
編集力・創造力  
つなぎ、生み出す力

# ESDの進め方 教える➡気づかせる

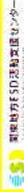


学びに火をつける

## ESDコーディネーターに必要な 4つのチカラ

1. コミュニケーション
2. コーディネーション
3. ファシリテーション
4. デイレクション

ESD-J（NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議）Webサイトより「ESDコーディネーター」



ESD活動推進センター

## ファシリテーションの4つのスキル

- ① 場のデザインのスキル 場をつくり、つなげる
- ② 対人関係のスキル 受け止め、引き出す
- ③ 構造化のスキル かみ合わせ、整理する
- ④ 合意形成のスキル まとめて、分かち合う

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会



ESD活動推進センター

## ファシリテーターとは

**「ファシリテーターは教えない。『先生』ではないし、上に立って命令する『指導者』でもない。その代わりファシリテーターは、支援し、促進する。場をつくり、つなぎ、取り持つ。そそのかし、引き出し、待つ。共に在り、問いかけ、まとめる。」**

**（中略）ファシリテーターは『支援者』であり、新しい誕生を助ける『助産婦』の役割を担うのだ」**

中野民夫著『ファシリテーション革命 参加型の場づくりの技法』



ESD活動推進センター

## ファシリテーションの5つの基礎スキル



中野民夫著  
『学び合う場づくり方  
- 本場の学びへのファシリテーション』



ESD活動推進センター

## 従来型の教師とファシリテーター型の教師との比較

	従来型の教師	ファシリテーター型の教師
求められる教育形態	トップダウンの教育、ピラミッド型	ボトムアップの教育、ネットワーク型
学習内容と課程	知識や情報を与え、内容をより充実させていく	予定していた内容とそれをきっかけとして気付けく想定外の内容がある
実践者の発言量	予定した学習内容を伝え教えることが重視されるため発言量が多くなる	学習者同士で学びあう課程において引き出される物もあるため、発言量は少なくなる
立ち位置	意見をコントロールすることで結論へと結びつける	学習者なりの結論にいたる案内をする
集団への介入	自分の力で盛り上げる	集団の力で場を盛り上げる
雰囲気づくり	結論ありきの空気が醸し出されるため（反対）意見が言い出しづらくなる	全員の意見が尊重されるため、何を言ってもよい、安心安全な場が保証される
リーダーシップ	集団を先導するよう努力強さ	集団を活かすしなやかさ
参加感	発言できなかった学習者への対応が不十分になりがちで、疎外感を覚える	何かしら場に貢献できる存在として捉えられるため、「いてもいい」という安心感を覚える

石川一貴・小貫 仁ノ編『教育ファシリテーターになろう！』

46 第3章 実践者がESD活動を進めるワンター

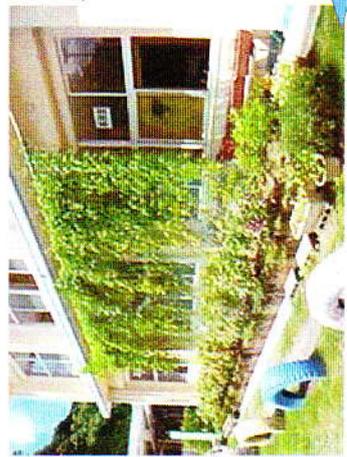
### ① 課題・テーマのつながりを考える



2019年度KECA総合研修会

## 実践例から考える

### グリーンカーテンから



温暖化の影響を学ぶ

市エネの大切さを学ぶ

自分でできることを考える

様々な種をつぶして油を抽出する



地域の店舗で廃油処理方法を聞く



なたね油について学び、まとめる

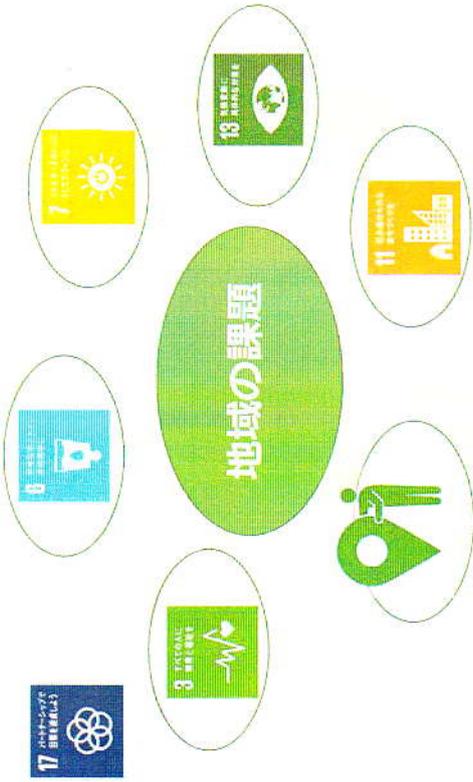


学んだこと提案を地域で発表する



ナツメ油の抽出方法  
→ なたね油の抽出方法  
→ なたね油の抽出方法

# ① 課題・テーマのつながりを考える



## 地域の実践モデルづくり 静岡県長泉町 小水力発電ESDプロジェクト



型式：開放型振子式下掛け水車  
出力：8kW/h 年間発電量：49,000kW（一般家庭4軒分）



## 再生可能エネルギーの特徴

### ■ メリット

- ・CO2を排出しない
- ・資源が枯渇しない
- ・富が海外へ流出しない
- ・新しい地場産業になる

### ■ デメリット

- ・発電量が少ない
- ・季節、時間、気候に左右されやすい
- ・環境に馴染まない場合がある



## 地域へ、さらなる拡散が必要

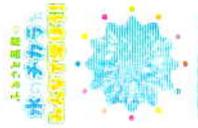


様々なメリットがある「ニコニコ水力発電」を  
もっと多くの地域の人に知ってもらうには、どうしたら良いか？

## ツール開発



## 教材開発・配布



A5版 8ページ  
学校で使えるように、  
ワークシートとした

長瀬 智



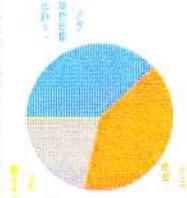
中学校2年理科（エネルギー）  
「発電について学ぼう」で活用

## 地域住民への教育



防災訓練

「ココロ水力で作られた電気は持ち運び用バッテリーで離れた場所でも使うことができます。災害時など『もしもの』ときにあなただったら、どのように使いますか？」



## 紙芝居づくり



紙芝居づくりワークショップ  
地域のママさんサークル、読み聞かせの会、シニアサークルの方の協力で紙芝居に



紙芝居づくりお披露目会  
読み聞かせの会の方に完成した紙芝居を披露していただきました。  
各サークル、シニアガイドなどに配布して活用してもら

## 学びたい様々な内容



② 人・組織のつながりを考える



② 地域でのESDの展開を促す

企業CSRを受託

- 東京海上日動火災保険(株)～環境保全活動(企画運営)  
【2014年・2016年～現在】

**Green Gift プロジェクトとは**  
東京海上日動火災保険株式会社のご契約時にお客様にご覧いただくことにより、(株)グリーンギフトがご契約先様へお送りいたします。これは、ご契約先様のCSR活動の一環として、環境保全活動をサポートするものです。  
2013年より各地域の環境NPOと協力して、主に子どもたちとそのご家族を対象とした環境学習に関する体験活動を行っています。  
地域の環境に関する体験活動を通して、子どもたちが身近なところから環境について考えるきっかけを得ることによって、持続可能な社会が実現することを目的としています。

協賛先: 東京海上日動

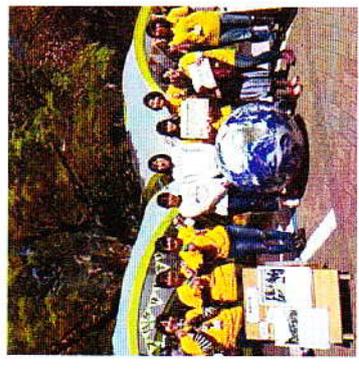
東京海上日動火災保険(株)

協賛先: 東京海上日動火災保険(株)

チャウス自然体験学校 (NPO法人チャウス)

組織概要

- 民設民営(NPO法人)の自然学校
  - 【2002年(平成14年)12月】設立
  - 【2017年(平成29年)2月】NPO法人登記
- スタッフ
  - 専従職員: 2名
  - 非常勤: 13名
  - ボランティア: 18名 (高校生・大学生・社会人)
- 活動会員: 116名



地域ESD活動推進拠点  
Education for Sustainable Development



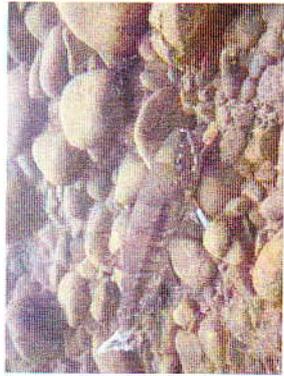
全国の自然学校で初! 群馬県内で初!

【2018年1月1日現在】

「ふるさとのできれいな川を創ろう  
(川の保全・保護活動)」

- 第1回 故郷に戻るサケの遡上観察と  
ゴミ拾いウォーク
- 第2回 サケの卵の配付と  
川辺のゴミ拾いウォーク
- 第3回 サケの稚魚放流とゴミ拾いウォーク
- 第4回 ヤマメの稚魚放流・環境学習と  
ゴミ拾いウォーク

【2018年1月1日現在】



11月23日 土曜日



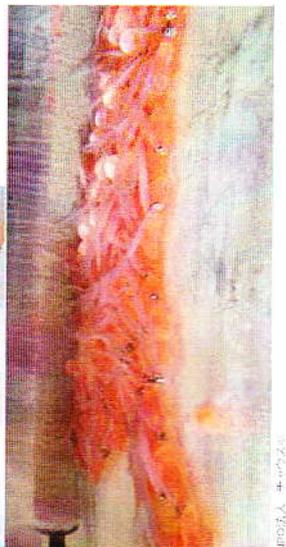
11月23日 土曜日



11月23日 土曜日



11月23日 土曜日



11月23日 土曜日



11月23日 土曜日

## ② ふるさとのきれいな川を創ろう

東京海上日動  
火災保険  
・群馬支店

チャウス  
自然学校

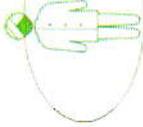
ふるさとの川  
を守ろう！

両毛漁協

日本NPO  
センター/  
関東EPO



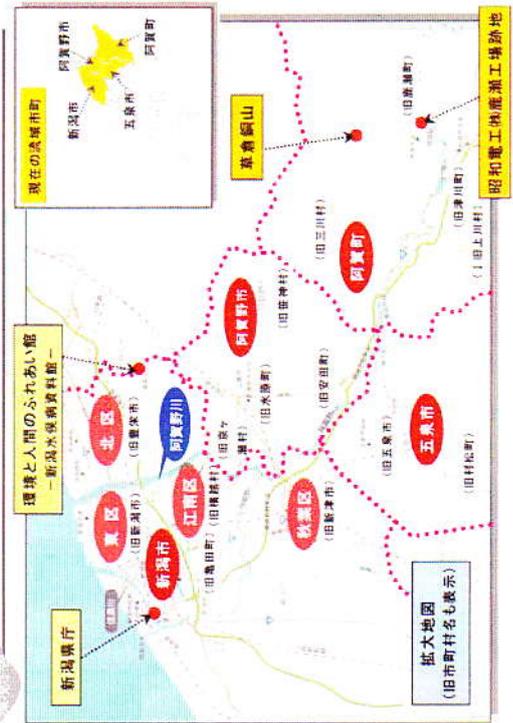
## ③ 過去や世界とのつながりから未来を考える



持続可能な  
地域・社会



## 阿賀野川流域マップ



## 環境学舎は阿賀野川流域の地域再生を担当

- ✓ 平成23年2月設立、阿賀野市に事務所
- ✓ あがのがわ環境学舎
- ✓ 阿賀野川流域の地域再生事業を担当



光と影  
どちらか一方に偏らず、光と影の両面を踏まえた取組  
とすることで、流域住民の方々から受け入れられた。

## 阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業(FM)



## 「ロバダン!」紹介 ～大事なことは少人数で本音で話す!



### ■「炉端談義」を略して「ロバダン!」

流域の茶菓子など楽しむついで雰囲気の中、困り事をかこんで本音を語り合えるよう、10名程度の少人数の寄り合い。流域各地で開催。

### ■「ロバダン!」の開催実績

OH21年度:17件  
 OH22年度:17件  
 OH23年度:17件  
 OH24年度:21件



### ■ロバダン!三原則

- 新潟水俣病のもやい直しが目的とはつきり伝える。
- 相手の言い分には耳を傾ける。否定しない。
- 共通の価値観を探る。共通の価値観を広げる。

FM事業での開催実績  
 OH21年度:17件  
 OH22年度:17件  
 OH23年度:17件  
 OH24年度:21件

(上流12・中流27・下流33)

## 地域の課題 ～ロバダンを通してわかった流域の本音

- FM事業のロバダンでこれまで出た意見
- 「大河の恵みで育った農産物を、阿賀野川ブランドとして売り出したいが、現状では新潟水俣病が想起され難しい」
- 「東京へ観光の営業に行ったら、阿賀野川のイメージは新潟水俣病だと言われショックだった」
- 「影の側面に偏った報道が多すぎる。せめて光の側面も併せて伝えてほしい」
- 「公害があったため、鹿瀬出身の若い世代には、故郷に自信が持てない者もいる」
- 「新潟水俣病はあまり語りたくない。しかし、地域が復興した現状は何とかしたい」

### まとめ

- 地域への誇りが持てない
- 疲弊した地域を再生させたい
- 阿賀野川ブランドを堂々と誇りたい

### 流域が抱える課題

自らが生きる地域へのイメージや自信が低下している。そして、新潟水俣病を避けているために、阿賀野川ブランドを堂々と誇ることができなくなっている。

## 阿賀野川エコミュージアム構想推進協議会

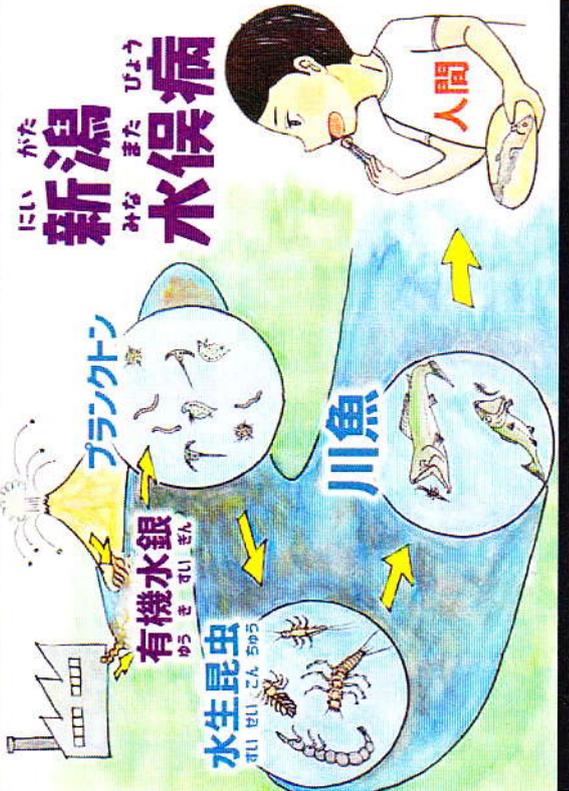




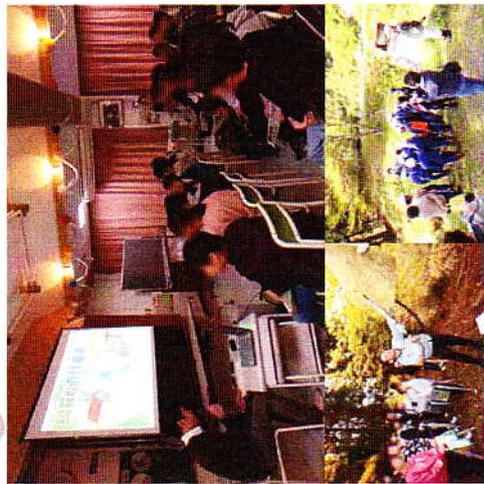
「阿賀町の近代産業の光と影」を紙芝居教材に!



- 阿賀町の近代産業の光と影
1. 蒸気機関車
  2. 阿賀野川の舟運
  3. 阿賀野川の舟運
  4. 舟運の衰退
  5. 舟運の衰退
  6. 舟運の衰退
  7. 川運から出荷
  8. 繁栄する町
  9. 足尾銅毒事件
  10. 足尾銅毒事件
  11. 足尾銅毒事件
  12. 足尾銅毒事件
  13. 足尾銅毒事件
  14. 足尾銅毒事件
  15. 足尾銅毒事件
  16. 足尾銅毒事件
  17. 足尾銅毒事件
  18. 足尾銅毒事件
  19. 足尾銅毒事件
  20. 足尾銅毒事件
  21. 足尾銅毒事件
  22. 足尾銅毒事件



阿賀町内の学校に紙芝居を使って授業を展開



検証(モデル)授業

7小学校&1中学校が参加

学校名	生徒数	授業時間
津川小	16名	5時間
三郷小	5名	3時間
鹿瀬小	10名	3時間
日出谷小	5名	3時間
三川小	18名	3時間
西川小	10名	10時間
上家小	5名	5時間
阿賀渾川中	43名	6時間
計	112名	38時間

ほとんどの学校で  
来年度も継続

③ 過去や世界とのつながりから未来を考える

